

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会	主 査 名：濱田幸雄 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・新幹線，在来線から発生する音を統一的に測定する方法として，A 特性音圧レベルより騒音暴露レベルを算出，さらに等価騒音レベルを最終的評価量とする方法を提案するためのデータ収集と検討。 ・室内騒音レベルを加味した遮音性能評価手法を提案する。 ・2019 年度：鉄道騒音の測定方法を聴感実験により検討，集合住宅居住者の要求遮音性能水準の調査の実施 ・2020 年度：騒音源別（道路騒音，鉄道騒音など）の最適騒音レベルの検討，変動する暗騒音下において外部から発生した騒音の評価に関する検討，暗騒音を考慮した室間音圧レベル差，床衝撃音レベルの要求性能の検討 ・2021 年度：集合住宅における最適な室内騒音レベルの設定，暗騒音を考慮した室間音圧レベル差，床衝撃音レベルの要求性能の検討 ・2022 年度：研究成果のまとめと公表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：濱田幸雄（日本大学） 幹事：岩本毅（三井住友建設） 委員：大内孝子（建設環境研究所），大脇雅直（熊谷組），古賀貴士（鹿島建設），須賀昌昭（住宅リフォーム・紛争処理支援センター），坪井政義（大林組），浜田由記子（大成建設），向井達郎（OTO 技術研究所），松田貫(BL 建設株式会社)，植村友昭(鴻池組)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 第 1 次測定量として，時間重み特性 S による A 特性音圧レベル LAS,max の優位性を確認した。 2. LAS,max から LAE を算出する際，列車通過時間の計測精度の影響はほとんど問題にならないことを確認した。 3. 聴感実験用試験音作成のため，居室の窓面を音源とし，居室中央を受聴位置とするインパルス応答データを取得した。
委員会活動の問題点・課題	特になし。

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	① <u>鉄道騒音の測定及び評価法の提案</u> 新幹線、在来線から発生する音を統一的に測定する方法として、A 特性音圧レベルより騒音暴露レベルを算出、さらに等価騒音レベルを最終的評価量とする方法について、列車の車種、走行速度、車両編成などの異なる音源を収録し、各種分析を行った。その結果、第 1 次測定量として、時間重み特性 S による A 特性音圧レベル LAS,max が優位であること、また LAS,max から LAE を算出する際、列車通過時間の計測精度の影響はほとんど問題にならないことを確認した。これらの成果を当小委員会がオーガナイザーを務めた本年度大会の環境工学部門・音環境のセッション「集合住宅の音環境向上のための新たなアプローチ」で発表した。 ② <u>暗騒音を考慮した室間音圧レベル差、床衝撃音レベルの要求性能の検討</u> 集合住宅居住者の要求遮音性能水準の調査方法の具体的な内容を検討した。また、変動する暗騒音下において、外部で発生して室内に透過する騒音の評価の仕方について検討を進めることができた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。